

## 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人おせっ会
実施事業	館山市富崎地区復旧活動に使用する木材及び金具購入
実施期間	2019年9月19日～12月31日
助成金額	100,000円

### 実施した事業の内容・成果

#### <実施内容>

台風15号により被災した千葉県館山市富崎地区内の屋根一時補修の施工に必要な資材を作成するための材料を購入、作成、施工した。

#### <実施詳細>

当初、ブルーシートと、土嚢を活用して被災した屋根の一時補修をしていたが、地域独特の強風により強度が保てなかった。そのため、外部からの講師をお願いしてブルーシートの施工方法を受講、その結果、金具を作成して瓦にブルーシートを留める方法を実施することにした。(写真1参照) 土嚢の数が少なくて済み、作業の安全性向上、屋根への負荷の軽減にもつながる。

#### <成果>

これまで、広い面積で留めていたブルーシートを狭い範囲で留めることができるようになり、今までより格段に長持ちするような仕様にできた。

それにより、多くの住民が安心して暮らせるようになり助かっている。

### 活動の様子

写真1 助成金にて材料購入し作成した部品 合計1000個作成



この部品を瓦に差し込み固定。その上から木材を巻き込んだブルーシートをビス止めすることで、強固な固定ができる。

ただし、課題もある。この部品を使って施工すると瓦とシートの間隙ができるため風にあおられやすくなる。したがって、土嚢と、防水テープなどを活用し施工には工夫を続けていく必要がある。

写真2 対象地域（館山市富崎地区）



430 世帯、700 人ほどが居住。  
うち、8 割の家が被災、その多くが屋根の瓦が吹き飛ばす被害にあい、雨漏りに悩まされている。またその雨漏りにより多くの家屋内にカビが繁殖、衛生的に課題を抱えてしまった家も少なくない。一日も早く雨漏りを止めたい。また間もなく春の雨が多く気温が高い時期が来る。その前になんとかしたい。

写真3 施工風景 作成した部品の上から必要に応じて木材で留めたりもする。



写真4 施工後風による被害例 ブルーシートが飛ばされやり直しの必要が出る家々が増える。



せっかく施工したブルーシートが紫外線で痛み、風により煽られ吹き飛ばされる。こういった家をまた一からやり直す繰り返しとなる。少しでも長く持つ施工方法が必要となるなか、今回の木材部品を使用する方法は非常にありがたい。



写真5 この部品を使うことにより、最小限の面積でシートを張ることができる。



シートは小さくはることができれば風の影響もうけづらくまた幾重かに重ねて施工もできるので強度も増す。木材と、土嚢、防水テープの併用での施工例。

写真6・7 作業風景

作業には命綱、安全帯、ヘルメットを着用しできる限りの安全対策をしている。梯子も屋根や壁などに固定している。



写真8 作業風景 高所作業車の協力

時に高所作業車をボランティアさんがお持ちくださることもあり、非常に助かる。二階家以上はなかなか梯子だけでは怖くて作業がはかどらない。



## 決算報告

### 収入

費目		金額（円）
2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金助成金		100,000
その他	特定非営利活動法人おせっ会事業費より	4,661
収入合計		104,661 円

### 支出

費目	算出根拠	金額（円）
木材	別添領収書の通り	38,973
金具	別添領収書の通り	65,688
支出合計		104,661 円

### 寄付者へのメッセージ

ご寄付のおかげで富崎地区の復旧活動を前進させることができました。  
 まだこの先も長く続く活動となりますが、地域住民が安心して過ごせるまで引き続き無期限にて活動が続けてまいります。今後とも応援を頂けますようお願い申し上げます。

### 今後の活動

2020年3月を目標に屋根一時補修、カビの清掃、瓦礫、倒木の片付けを完了させたいと考えております。（終わらない場合は延長）  
 その後、地域に劇的に増えるであろう空き家を活用し、移住の促進、二地域居住者の促進を通して地域の「復旧」から「復興」へつなげてゆく活動を無期限で続けてまいります。